



お問い合わせ、お申し込みは 大阪商業大学 総合交流支援課

Tel 06-6785-6286 Fax 06-6785-6133

協力:東大阪商工会議所

「地域社会と中小企業」

当講座は、1998年度に東大阪商工会議所の協力のもと、中小 企業についての適切な認識とあり方を考え、地域の活性化と起 業(ベンチャー)意識の育成を目的に開講されました。

担当教員としては太田一樹、粂野博行、西井進剛、前田啓一の4名のほか、東大阪市ほか阪神地域などの中堅企業のトップ等を特別講師として迎え講義を行います。講師陣にはさらに、行政、マスコミ、中小企業振興機関などでの第一線の方々が加わります。

PROFILE



太 田 一 樹(おおた かずき)

大阪商業大学 教授

1958年京都市生まれ。2020年4月より現職。経営戦略論、中小企業経営論を専攻。博士(経営学)。中小企業診断士。日本中小企業学会、日本商業学会、日本経営診断学会などの会員。

主な著書:『ベンチャー・中小企業の市場創造戦略』(ミネルヴァ書房 2008 年)(単著) 『1 からのグローバル・マーケティング』(碩学舎 2017 年)(共編著) 『中小企業研究序説』(同友館 2019 年)(共著)

『生産性向上の取組み事例と支援策』(同友館 2020 年)(編著)などがある。



粂 野 博 行(くめの ひろゆき)

大阪商業大学 教授

1960 年東京生まれ。2009 年 4 月より現職。中小企業論を専攻。 日本中小企業学会などの会員。

主な著書: 『中小企業の空洞化適応』(同友館 2014年)(共著)

『産地の変貌と人的ネットワーク』(お茶の水書房 2010年)(編著)

『地域インキュベーションと産業集積・企業間連携』

(お茶の水書房 2005年) (共著)

『多様化する中小企業ネットワーク』(ナカニシヤ出版 2005年)(共著)

『「縮小」時代の産業集積』(創風社 2004年)(共著)

『産業集積の再生と中小企業』(世界思想社 2001年)(共著)などがある。



西 井 進 剛(にしい しんごう)

大阪商業大学 教授

1974年大阪市生まれ。2023年4月より現職。国際経営論・産業クラスター論を専攻。博士(経営学)。多国籍企業学会、国際ビジネス研究学会などの会員。

主な著書:『地域活性化のデザインとマネジメント-ヒトの想い・行動の描写と専門分析』 (晃洋書房 2019 年) (共著)

『安室憲一の国際ビジネス入門』(白桃書房 2019年)(編著)

『知識集約型企業のグローバル戦略とビジネスモデル - 経営コンサルティング・ファームの生成・発展・進化』(同友館 2013 年)(共著)などがある。



前田啓一(まえだけいいち)

大阪商業大学 特別教授・名誉教授

1951 年京都市生まれ。2022 年 4 月より現職。国際経済論・中小企業 論を専攻。博士(経済学)。日本中小企業学会などの会員。

主な著書: 『ASEAN における日系企業のダイナミクス』(晃洋書房 2010 年) (共編著) 『地域活性化のデザインとマネジメント』(晃洋書房 2019 年) (共編著)

『中小企業研究序説』(同友館 2019 年)(共編著)

『ベトナム中小企業の誕生』(お茶の水書房 2018 年)(単著) 『現代中小企業論』(同友館 2009 年)(共編著)などがある。

令和5(2023)年度 第26回大阪商業大学 公開講座

地域社会と中心企業

日時

令和5(2023)年4月20日(木) ~7 月20日(木) 14:40 \sim 16:10 \

※期間中の毎週木曜日(5月11日・25日、6月22日、7月6日は除く)

場所

大阪商業大学 ユニバーシティホール 蒼天



日程	テーマ	講師	
第1回 4月20日(木)	SDGsが中小企業に及ぼす影響 -SDGsは中小企業にとって追い風になるか-	株式会社 アオキ 代表取締役社長 青木 理	
第2回 4月27日(木)	中小企業の新たな事業展開 -海外事業と人材育成-	株式会社中農製作所取締役社長 西島 大輔	
第3回 5月18日(木)	中小企業のイノベーション - 技術と海外展開 -	三建産業 株式会社 相談役 万代 峻	
第4回 6月1日(木)	シリコンバレーの成功に学び、 関西で成功するヒント	日本電子材料 株式会社 代表取締役社長 大久保 和正	
第5回 6月8日(木)	新しい価値創造が未来の会社を創る - 小さな酒屋の大きなこだわり -	株式会社 酒商山田 代表取締役 山田 淳仁	
第6回 6月15日(木)	宇宙に挑戦する勇気夢を叶える! -育てる 育つ 育てられる-	株式会社 大日電子 代表取締役 松本 日出夫	
第7回 6月29日(木)	物流の歴史と商都大阪の秘密	阪南倉庫 株式会社 代表取締役社長 堀畑 造重	
第8回 7月13日(木)	夢の種まきからウェルビーイングへ	株式会社 阪枝 代表取締役社長 後藤 純次	
第9回 7月20日(木)	中小企業と地域づくり	認定NPO法人 宝塚NPOセンター 理事長 中山 光子	



お問い合わせ先

大阪商業大学 総合交流支援課 (総合交流センター) 〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10 TEL: 06-6785-6286 FAX: 06-6785-6133



株式会社 アオキ



代表取締役社長

所在地

〒577-0065 大阪府東大阪市高井田中5丁目7番3号 TEL 06-6781-5141 FAX 06-6781-3921 URL https://aoki-maido.co.jp/

会社概要

創 業/1961年6月10日 設 立/1979年6月10日 資本金/1,000万円 従業員数/15名

事業内容

金属切削加工、航空機のCFRP部品加工 及び販売事業

沿革

1961年 大阪市片江町にて【青木 唯夫】が青木鉄工所を創業

1979年 個人経営から青木鉄工所株式会社へ社名変更

1986年 航空機業界と取引開始

1995年 株式会社アオキ社名変更し【青木 豊彦】が二代目社長就任

1997年 BOEING社の認定工場となる

2002年 東大阪宇宙関連開発研究会が設立

2005年 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) との取引開始

2007年 航空機業界の特殊工程認定機関 (PRI) からの

Nadcap認定を取得

2009年 まいど1号打ち上げ成功

2010年 JAXAと共同で無人飛行機の開発開始

2011年 (株)大塚製薬工場様と取引開始

2013年 【青木 理】が三代目社長就任

大阪市立大学と「医療コンソーシアム」を設立シャープの特約代理店となり販売部門の立上げ

2014年 NHK番組「超絶! 凄ワザ」出演

2016年 国際航空宇宙展にて防衛省ブースから

VTOL無人飛行機を出展

2017年 米国・中国・韓国・アフリカ・フィンランド・タイ王国より視察を受入

2019年 G 2 0 大阪サミットで、ものづくりの代表として P R 動画を内閣 官房室から依頼

2020年 販売事業立ち上げ

2021年 オープンファクトリー「こーばへ行こう!」協賛

ノンフィクションのものづくりを提供する 誰かだけ知っている尖った中小企業!

株式会社アオキは、世界で一番小さいボーイング社認定工場として、航空機で使用される金属の精密切削技術とCFRP材の特殊加工技術で、国内14社しか取得していない認証システムを取得しています。そのため、確実な品質保証の体制が構築できています。

共同開発では、JAXA などの国の研究機関や、大学とも連携し、実績を上げています。また、ものづくりのネットワークを活かして、ニーズに応じた開発を設計から製造・販売まで提供できます。

SDGs の実現に向け、大手企業の大量生産、大量消費のものづくりを辞め、耐久性の高い、長寿命の部品を提供し、産業装置メーカーの新規、既存の装置については高効率、長寿命にできるご提案をしています。 楽しく成長しなければ仕事じゃない!を合言葉に、ノンフィクションのものづくりに、こだわっています。







株式会社 中農製作所



取締役社長 西島 大輔

所在地

〒579-8037 大阪府東大阪市新町21番26号 TEL 072-981-0969 FAX 072-982-4561 URL https://www.nakanos-s.co.jp/

会社概要

創 業/1949年8月 設 立/1957年4月 資本金/1,450万円 従業員数/75名

事業内容

精密切削加工 小型部品洗浄機の製造販売

沿革

1949年8月 ミシン部品の製造で創業 1957年4月 株式会社中農製作所設立 2001年12月 ISO9002 認証取得 2005年12月 エコアクション21 認証取得

2007年3月 飛躍するKANSAIモノ作り元気企業100社 受賞 2007年6月 明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社 受賞

2017年6月 はばたく中小企業・小規模事業者300社 受賞 2017年9月 NAKANO PRECISION CO.,LTD 設立

精密切削加工から組立のエキスパート 小型部品洗浄機の製造販売

弊社は、半導体製造装置部品・産業用ロボット部品・医療機器部品等、20 業種 50 社へ金属の精密部品を 提供しております。金属加工においては、高精度、高難易度、難削材等、お客様の課題解決に取り組んでおります。 又、自社商品として、小型部品洗浄機『洗浄小町』を製造販売しております。洗浄小町においては、コンパクトでありながら強力洗浄・強力乾燥できる洗浄機となっております。特にカスタマイズを得意としており、お客様から相談いただくことが多く、用途に合わせて設計製造をして対応しております。自動車業界等幅広い業界へ納入しております。

昨年に開発したマスキングゴム洗浄機も好評で今年度は更に知名度を向上し、販売台数を増加させて参ります。本機は、塗装工程で使用するマスキングゴムが、塗料が塗布されることにより使用できなくなりますが、 これを水のみの洗浄で綺麗に再利用できる洗浄機となっております。

今後も精密部品加工・洗浄機においてお客様の課題解決のために取り組んで参ります。





三建産業 株式会社



相談役 万代 峻

所在地

〒731-3169 広島県広島市安佐南区伴西3丁目1-2 TEL 082-849-6790 FAX 082-849-6890 URL http://www.sanken-sangyo.co.jp/

会社概要

創 業/1949年8月17日 設 立/1949年8月17日 資本金/9,500万円 従業員数/177名

沿革

1949年 広島県安芸津町で創業

1960年 日本最大の輻射壁型台車式焼鈍炉の納入(三菱造船広島)

1968年 日本初セラミックファイバー大型焼鈍炉の開発(宇部興産)

1976年 連続溶解・超省エネのタワー型アルミ溶解炉の開発(リョービ)ON/

1984年 OFF交番燃焼システムアメリカ特許取得

1987年 世界初の工場内アルミ切粉溶解炉の開発(アイシン精機)

1993年 世界初浸漬管式構造物用亜鉛メッキ炉開発(田中亜鉛鍍金)

2008年 世界初のオール電化アルミ溶解炉S-MICの開発(東京電力)

2016年 炭素繊維リサイクル用熱分解炉の開発 (東レ)

事業内容

工業炉の開発・設計・製作・据付 - 試運転並びにメン テナンス

熱とエネルギーに係る優れた エンジニアリング技術で地球環境の保全と 人類社会の調和のとれた発展に貢献します

わが社は重工業・鉄鋼・自動車産業をはじめアルミその他素形材産業の戦後の復興と発展と共に、従来の発想にとらわれない革新的な工業炉の提案で、日本に止まらず世界の多くのお客様から信頼を得ています。

特に 1976 年に開発した自動車産業向けのタワー型アルミ溶解炉は、その後の様々な関連商品の開発と共に世界市場展開への道を拓き、現在では 1 0 ヵ国にまたがる子会社・出資会社・技術供与会社で編成される Sanken Global Partners Network が活動しています。この SGPN はそれぞれに市場の知見やテーマを共有し相互互恵・協力精神のもと、新たな技術の開発と市場開拓に取組む中小企業水平連合体をめざしています。

創業以来追及している「省エネルギー、省資源、高効率、人にやさしいモノづくり」のテーマは、今後の脱炭素社会に向けた地球環境の保全に対して、益々活躍の場を広げています。

10年の歳月をかけて研究開発してきた化石燃料を使わない世界初のオール電化溶湯循環型アルミ溶解炉 S-MIC はいよいよ本格的な普及期に突入しています。

「勇気と好奇心」そして「あくなきチャレンジ精神」は今後も変わることのない三建の旗印として、社会に貢献する会社をめざしていきます。









日本電子材料 株式会社



代表取締役社長執行役員 大久保 和正

所在地

∓660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町2丁目5-13-2 TEL 06-6482-2007 FAX 06-6482-8993 URL https://www.jem-net.co.jp/

会社概要

業/1960年4月 立/1960年4月 資本金/3,053,574千円 従業員数/683名

事業内容

カンチレバー型プローブカード(Cタイプ) 、アドバンストプローブカード(Mタイプ、 Vタイプ)、フィラメント、電子ビーム溶接 機用陰極、各種ヒーター等の製造販売

沿革

1960年4月 兵庫県尼崎市に日本電子材料(株)を設立し、ブラウン管力 ソード、ヒーター等の電子管部品の製造販売を開始 米国のRucker & Kolls社と技術提供し、 1970年4月

半導体ウエハー検査用プローブカードの製造販売を開始 1985年11月 熊本県菊池市に熊本工場(現熊本事業所)を新設 1994年9月 垂直接触型プローブカードVCシリーズを開発し、

製造販売を開始

1998年8月 日本証券業協会(現ジャスダック証券取引所)に

株式を店頭登録

VSシリーズを開発、製造販売を開始 2001年7月

本社地区、熊本工場(現熊本事業所)がISO14001認証取得 2004年9月

2005年2月 東京証券取引所市場第二部に株式を上場 2006年3月 東京証券取引所市場第一部に株式を上場 2009年5月 MCシリーズを開発、製造販売を開始 VTシリーズを開発、製造販売を開始 2009年6月

2015年10月 本社地区及び熊本事業所のクリーンルームを拡張し、

Mタイププローブカードの生産能力を強化

兵庫県三田市に三田工場を設立 2019年9月 2022年4月 東京証券取引所の市場再編にともない、

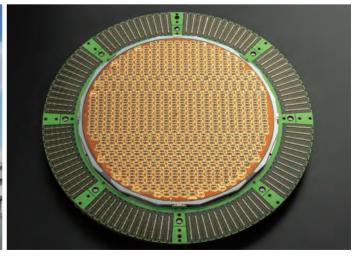
スタンダード市場に移行

技術の開発と製品化によって 社会に貢献する

当社は、半導体の品質を支える上で必要不可欠なプローブカードの開発、製造、販売を行っております。 半導体は、社会インフラを支えるIT基盤の中核技術として、また省エネルギーや環境に配慮した製品の基 幹部品として、その重要性はますます高まっています。

1970年に日本で最初にプローブカードの製造を開始し、長年エレクトロニクス産業の成長に貢献してまい りました。そしてこれからも、プローブカードを通じて半導体の品質を支えるとともに、技術の開発と製品化 によって、社会に貢献する企業であり続けます。





株式会社 酒商山田



代表取締役 山田 淳仁

所在地

〒734-0011 広島県広島市南区宇品海岸2丁目10番7号 TEL 082-251-1013 FAX 082-251-6596 URL https://sake-japan.jp/

会社概要

創 業/1931年1月1日 設 立/2004年7月8日 資本金/10,000千円 従業員数/51名

事業内容

洒類販売業

沿革

1931年 山田政市 広島市宇品町神保通り1306番地にて山田商店創業 1934年 船舶食料品納入業を開始

1945年 山田政市原爆にて死亡

山田延恵が酒類小売店を分離し事業を継続

1956年 現住所 広島市宇品町北通り13番地に移転。山田酒店に変更

1973年 山田康二事業継続 ヤマダ酒店に変更。

1974年 進物取扱い開始・広島大学生協・定期航路に納入開始

1990年 山田淳仁 「日本の酒」をテーマに専門店をめざす。

2001年 新店舗ビル完成。酒商山田に変更

2004年 法人成り 株式会社酒商山田設立 代表者に山田康二就任

2005年 山田康二死亡。山田淳仁 代表取締役就任

2011年 幟町店オープン

2015年 広島駅新幹線名店街店オープン

2017年 エキシティ広島。エディオン蔦屋家電店オープン

2018年 八丁堀店オープン・山カフェオープン

2019年 エディオンと提携。

大阪難波に日本酒店オープン・新倉庫完成 2021年 東京池袋 西武池袋本店に西武池袋店オープン

日本の酒の多様性と魅力を日本と世界と共に発信する「新しい酒屋像」への挑戦!

昭和6(1931)年、祖父山田政市が創業した弊社は、今年92年目を迎えました。祖父は、酒小売業の他、食品事業にも取組み、船舶への酒・食品納入業を発展させました。祖父は、家族や社員さん、お取引先や同業者を大切にし、地域や社会に貢献した人でした。昭和20(1945)年原子爆弾投下により創業者は死亡しましたが、祖母山田延恵が事業を縮小して酒屋を守り抜きました。その後、父山田康二が事業を継承。クルーズ船への納入、広島大学生協との取引を開始し、町の酒屋から地域の酒屋として発展させました。

昭和 63(1985)年康二が病に倒れ、事業を継承した私は、売上の 95% を占めていた主力商品を捨て、衰退縮小していく日本酒への特化を決心しました。その後、価格競争、業界の縮小衰退、バブル崩壊、リーマンショック、コロナ禍等様々な環境変化がありましたが、幾多の荒波を乗り越え、現在新しい価値創造や業界の発展、日本酒文化の多様性を守り発展させていくビジョンに向かって取り組んでいます。











株式会社 大日電子



代表取締役 **杦本 日出夫**

所在地

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町12番27号 TEL 06-6339-6299 FAX 06-6339-6352 URL https://www.dainichi-el.co.jp/

会社概要

創 業/1981年6月 設 立/ 資本金/1,000万円 従業員数/44名 顧問:7名

事業内容

電気通信機器の設計、製造、販売、工事、保守電気通信機器部品の設計、製造、販売電子事務機器の販売、保守

令和5年春の叙勲において「旭日単光章」を受章

令和5年春の叙勲において、旭日単光章(国や公共のために功労のあった方、功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた者)として、経済産業大臣から内閣総理大臣に推薦され、内閣府賞勲局で審査を経て、閣議決定後、天皇陛下の御裁可を得て発令されました。

沿革

1981年6月 大阪府枚方市伊加賀南町にて資本金850万円で創立

1992年3月 日本で初めて無線による心電図伝送システムを開発し納入

1993年6月 テレビ電話が出来るインテリジェント交番を開発し納入 消費者金融向け無人店舗監視制御装置を開発し納入

1998年3月 代表取締役就任

1999年7月 国際品質システムISO9001を認証取得

2002年3月 シリコンマイクロジャイロセンサの開発で NASDA/用・1AVA)字束べ、チャーナ賞等賞

NASDA(現: JAXA)宇宙ベンチャー大賞受賞

2003年3月 関西大学と同色布見た目判定装置の共同研究を開始 同色布見た目判定装置研究開発で大阪府知事創造法を認定 ホームセキュリティ商品を開発

2005年3月 電力事業向けデジタル無線用「回線制御装置及び指令卓」を開発し販売

2007年4月 列車無線車上局、操作器1号機出荷開始(阪急電鉄)

2007年10月緊急地震速報装置(IPv6仕様)1号機出荷開始

2008年2月 自社ブランドによるFM基地無線装置1号機を関西電力殿へ出荷開始

2009年1月 宇宙開発協同組合SOHLA(旧東大阪宇宙開発協同組合)が開発した人工 衛星「まいど1号」打ち上げ成功 経済産業省中小企業庁より「元気な モノ作り中小企業300社」選出

2010年1月 第5管区海上保安部より「非随伴型GPSデータ送信機空中投下ブイシス テム(NAGAS)製作に対する功労」に対し感謝状を授与

2010年8月 戦略的基盤技術高度化支援事業「150MHz帯業務用アナログ/デジタル 共用無線機開発」で採択

2011年3月 アナログ列車無線システム中央装置納入開始(阪急電車)

2012年7月 当社製作の雷観測センサが種子島より打ち上げられ、 国際宇宙ステーション「きぼう」へ搭載 (2015年9月、3年間の稼働実績を得て運用を修了)

2014年9月 日本初の病院自衛の救急災害無線システムを鹿児島県米盛病院へ納入

2016年4月 山陽電車6000系新型車両に大日電子製列車無線が搭載

2021年7月 デジタル列車無線システム中央装置、車上局納入開始(神戸市交通局)

2023年2月 経済産業省近畿経済産業局より「関西ものづくり新撰2023」に選出

正確に働く遠隔制御機器を創る会社

大日電子の主な製品は、列車無線装置、電力保安無線装置、ダムテレメーター・放流警報装置、防災・放送装置、各種伝送装置があり、自社開発製品は直接販売にて最終ユーザー様に納入しています。当社では、お客様に高品質な製品をお届けする為に、企画・提案、設計・開発から保守・点検まで、一貫して自社で行っています。

企画・提案に始まり、ユニットや基盤の設計・開発(廃盤になったユニットは自社で新規設計もしています)・組立・製造、各種品質検査、販売、工事、保守・点検に至るまで、全て自社で一貫して行います。また、創立から今日までの活動を通して、確信が持てたことがあります。それは企業の品質は人であるということです。会社が造る製品の品質は社員一人ひとりの活動の結果が表れるものなのだと学びました。つまり、良いモノを創るには、日頃から社員同士が気持ちを伝え合うことで品質を向上させることができるとの思いに至りました。当社では、毎朝15分、社長を含めた社員全員で徹底した大掃除に取り組んでいます。掃除をきっかけに、ありがとうという感謝する心・手伝おうとする気遣い・謙虚な心を学んでいます。この、感謝・気遣い・謙虚を、心の3Kと呼んでいます。更に人と人の繋がり(コミュニケーション)の第一歩である、挨拶と身だしなみをきちんと行うことも大事と考えています。













阪南倉庫 株式会社



代表取締役社長 堀畑 浩重

所在地

〒590-0959 大阪府堺市堺区大町西3丁目2番3号 TEL 072-232-0267 FAX 072-232-0054 URL https://capsohn.co.jp/

会社概要

創 業/1914年 設 立/1923年 資本金/4,125万円 従業員数/307名

事業内容

倉庫/運送取扱/荷造包装/損害保険代理業/ 不動産賃貸/情報処理/健康自立介護

沿革

1914年 堺で初の営業倉庫として創業 1939年 倉荷証券発行許可を受ける 1948年 戦後の再建に着手、倉庫の拡張へ

1949年 政府食糧の保管を開始

1951年 新しく農林省の指定倉庫となる 1952年 大阪穀物取引所の指定倉庫となる

1954年 堺輸出敷物協同組合の共同梱包場として包装業務開始

1960年 電機製品、繊維製品、化学薬品の取扱開始

1966年 建築資材(タイルなど)の取扱開始

1970年 食用油、タイヤなどの取扱開始

1973年 カメラ、繊維製品などの取扱開始

1979年 施設の近代化と集約化に着手

1981年 ジャストインタイム物流ニーズに対応

1990年 物流センター本格稼働

1992年 物流から販売へ

1993年 健康及び介護関連用品取扱店「ゼロワンネーブルハウス」をオープン

1995年 生産物流を強化

1999年 汐見第三流通センター開設

2007年 香港代表事務所開設

2008年 広州代表事務所、汐見第四流通センター開設

2009年 汐見第三流通センターに低温保管所開設

2010年 ISO9001の認証取得

2011年 堺ブランド「堺枝衆」として企業認証

2014年 創業百年

2017年 機能訓練型施設ヴィンテージクラブ設立

2018年 汐見第五流通センター開設

2020年 「ビジョンマップ」を策定 目指すべき方向、自社の強み、キャリア イメージを明確化

阪南倉庫は南大阪で「最古」の営業倉庫です

皆さんは、倉庫業と言えば単に商品を預かるだけの仕事というイメージをお持ちかもしれません。当社は1914年に創業した倉庫会社ですが、それまでの大量生産・大量消費から多品種少量生産に変わる時代の流れを先読みし、様々な顧客のニーズに対応する為、いち早く倉庫を機械化、システム化しました。そして、作業手順をルール化し、知識や経験が無くてもすぐに作業ができる体制を整えています。とは言え、会社は働く人の考え方や向き合う姿勢によって、良くも悪くもなるものです。そこで当社では「五感主義」という五つの感性を大切にしています。1. 先手主義…意欲的に行動すること 2. 得手主義…得意分野を身に付けること 3. 手に職主義…手に職を付けること 4. 関わり合い主義…色んなコトやヒトに関わること 5. 思いやり主義…周りを思いやれること。

これまで変わらず守り続けてきたものを大切にしつつ、しかし時代の変化と共に変えていかなければいけないものは変えていきながら、100年企業として更なる 100 年を目指している会社です。







株式会社 阪技



代表取締役社長 後藤 純次

所在地

〒676-0017 兵庫県高砂市荒井町東本町19-23 TEL 079-443-4405 FAX 079-443-5933 URL https://www.hangi.co.jp/index.html

会社概要

創 業/1961年 設 立/1981年 資本金/1,000万円 従業員数/235名

事業内容

3D設計・開発/生産技術/品質技術/システム開発

沿革

1961年 「有限会社三陽写真工業」設立…三陽グループのはじまり 1981年 「阪急技術工業株式会社」設立…阪技のはじまり 1992年 「有限会社三陽写真工業」が「三陽写真工業株式会社」 に組織変更

2001年 三菱重工業株式会社高砂製作所敷地内に高製設計分室開設 2005年 「阪急技術工業株式会社」から「株式会社阪技」に社名変更 2008年 「株式会社阪技」と「三陽写真工業株式会社」が統合

2010年 三菱重工業株式会社神戸造船所前に神戸事務所開設 2011年 ISO9001を認定取得

三菱重工業株式会社高砂製作所敷地内にプラント設計分室開設

2012年 三菱重工横浜ビル内に横浜事務所開設

2013年 三菱重工業株式会社長崎造船所前に長崎事務所開設

2018年 120 WORKPLACE KOBEに

神戸三宮イノベーションオフィス開設

2019年 howliveタイムスビル店に

沖縄那覇イノベーションオフィス開設 2020年 三菱重工業株式会社日立工場前に日立事務所開設

やりがいと働きやすさへの環境づくりを 通して、イノベーションの創出へ

阪技は電気や空調において、ものづくりを支える技術を提供するエンジニア集団として、新しい会社への変化に対応する技術を創造し続けます。たとえば、再生可能エネルギー、水素エネルギー活用への挑戦など、社会インフラを支える新しい技術に取り組んでいます。

常に、技術を支えるのは人であるという考えのもと、人を育て、互いに支えあうこと、笑顔で活躍することを大切にしています。一人ひとりの良いところを伸ばす育成や AI などの次世代情報技術を学ぶ研修を通じて、やりがいを生む仕組みを作っています。社内保育所の運営、タイムマネジメント能力の養成による残業抑制、場所や時間にとらわれない働き方等で、働きやすい環境を整えています。やりがいと働きやすさへの環境づくりが社員のウェルビーイングへつながり、さらなる技術発展を目指します。創業以来、蓄積してきた「巧の技」ともいえる技術力と、AI などの次世代情報技術を融合し、歴史ある技術を進化させ、さらなる変革を起こし、イノベーションの創出を図ります。







認定NPO法人 宝塚NPOセンター



理事長 中山 光子

所在地

〒665-0845 兵庫県宝塚市栄町2丁目1-1ソリオ1-3F TEL 0797-85-7766 FAX 0797-85-7799 URL https://hnpo.net/

会社概要

創 業/1999年 設 立/1999年 資本金/ 従業員数/21名

事業内容

まちづくり・創業支援・就労支援

沿革

1999年 特定非営利活動法人宝塚NPOセンター設立 1999年 第23回井植文化賞地域活動部門賞受賞 2002年 兵庫県・宝塚市の委託事業を受託 2008年 経済産業省地域新事業創出発展基盤促進事業受託 2009年 経済産業省「ソーシャルビジネス55選」に選ばれる 2012年 NPO法改正後の兵庫県第1号の認定NPO法人に認定される 2013年 厚生労働省「地域若者サポートステーション事業」受託 2022年 休眠預金助成を活用し「シングルマザーハウスWith」を 立ち上げる

人と社会をつなぎ、 それぞれのHAPPYを応援する

わたしたちの理念



2022 年度特定非営利活動に係る事業計画

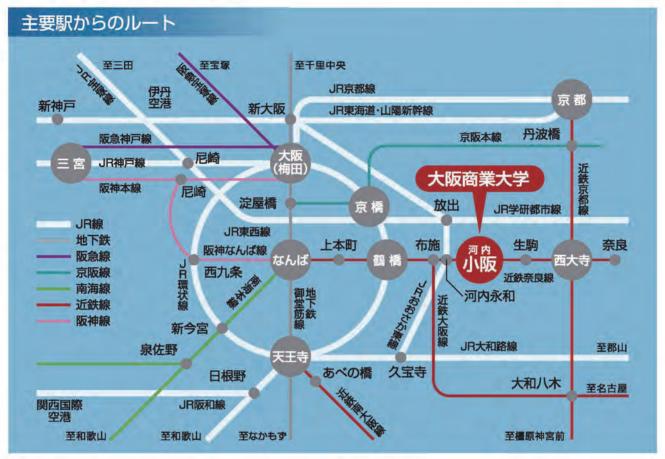
市民活動促進支援事業/生きがいしごとサポートセンター事業/コミュニティ・ビジネスICT活用促進事業/ひょうごアドプト促進事業/シェアカフェ起業支援事業/三田市創業支援と地域活動支援事業/住居支援事業/母子ハウス

地域若者サポートステーション事業/就労準備支援事業及び生活困窮者自立相談支援事業/女性のための就労支援事業/若者就労支援事業/Say!So!(清掃)事業

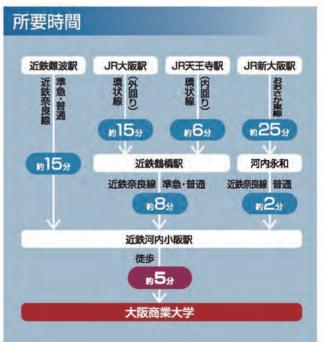












大阪商業大学 総合交流支援課

T577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10 Tel 06-6785-6286 Fax 06-6785-6133 URL https://ouc.daishodai.ac.jp

